3期制	2期制	大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
					関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
		みんな なかよし （配当時数24時間） (p.2〜p.35) ＊もくじ（表2〜p.1） 1年生の生活科のテーマは「なかよし」。生活科の活動への期待感をもてるようにする。 ＊1ねんせいの スタートだ！（p.2〜5） 入学し小学校生活、そして生活科の活動に入っていく思いや願いを膨らませる。	◎友達や先生、学校を支える人々と親しみ、楽しく学校生活を送ることができる。 ◎学校の施設を知り、利用の仕方が分かり、動植物に親しんだり、育てたりすることができる。 ◎通学路の様子や、安全を守っている施設や人々に気付き、安全な登下校ができるようになる。	・学校探検 ・栽培活動 ・通学路や公園などに出かける 等のための準備	○学校の施設、学校生活を支えている人々や友達および通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心をもち、楽しく学校生活を送るとともに、安全な登下校をしようとしている。 ○植物に関心をもって育てようとしている。 ○公園の施設に関心をもって遊び、正しく使おうとしている。	○学校の施設の利用および学校生活を支えている人々や友達とのかかわり、安全な登下校などについて、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それを自分らしく表現している。 ○植物の世話の仕方を考えて行っている。 ○みんなで楽しく生活するためのルールを考えて活動している。	○学校の施設、学校生活を支えている人々や友達および通学路の様子などが分かり、それらと自分とのかかわりに気付いている。 ○植物の成長の様子や世話の仕方に気付いている。 ○公園には、みんなで使うルールがあることに気付いている。

月		小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例		
						関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
1学期 配当時数 35時間 / 1学期 配当時数 44時間								
4月	みんな なかよし	ともだち たくさん つくろう （p.6〜9）	4	◎自己紹介や集団ゲーム、歌などを通し、新しい友達と遊んだり、上級生や学校で働く人たちに世話をしてもらったりすることを通して、学校にかかわる人たちに親しみをもつ。	・画用紙 ・歌詞カード ・歌える歌のリサーチ ・発達に即した手遊びのネタ ・ゲームのルール確認 ・2年生からの招待状、プレゼント	○友達や先生と楽しく遊ぼうとしている。 [行動] ○上級生に迎えられ、学校生活を楽しみにしている。 [行動・つぶやき] ○あいさつをしようとしている。 [行動・発言]	○ルールを守って遊んでいる。 [行動] ○相手に合わせたあいさつをしている。 [行動・発言] ○学校であったことを家族に話している。 [発言]	○クラスの友達と交流するよさに気付き、クラスに親しみをもち、自分もクラスの一員であることに気付いている。 [行動・発言] ○あいさつの仕方が分かっている。 [発言]
5月	みんな なかよし	わたしの がっこう どんな ところ （p.10〜19）	8	◎学校内を自由に回り、興味のあるものやそこにいる人々とふれ合うことを通して、学校の様子や学校生活を支えるいろいろな人々の存在に気付く。 ◎校庭や校舎の施設、生き物、植物に関心をもち、楽しくかかわる。 ◎見つけたことを絵に描いたり、友達に伝えたりする。	・「がっこうたんけんちず」（2年生からのプレゼント） ・全校への連絡・お願い ・動物アレルギーの有無の確認 ・たんけんカード	○学校の施設に関心をもち、行ってみたい教室や会いたい人など、自分なりのめあてをもって繰り返し探検に出かけようとしている。 [行動・発言] ○時間や約束を守って、楽しく探検しようとしている。 [行動] ○学校の施設や人々に関心をもち、伝え合おうとしている。 [行動・発言] ○飼育小屋の生き物に関心をもちふれ合おうとしている。 [行動]	○気持ちよく学校生活を送るためのきまりやマナーについて考えて探検している。 [行動] ○学校の施設や遊具の利用の仕方を考えながら、楽しく遊んだり生活したりしている。 [行動] ○誰に何を伝えるかを考え、伝えたいことを選んでいる。 [行動・記録・発言] ○動物とのかかわり方を考えながら、仲よく遊んでいる。 [行動]	○学校の施設の様子とその役割に気付いている。 [発言・記録] ○学校には、先生や友達がたくさんいることが分かっている。 [発言・記録] ○学校には、いろいろな仕事があり、みんなのために働いている人がいることに気付いている。 [発言・記録] ○学校が好きになり、学校の施設を上手に使えるようになった自分に気付いている。 [つぶやき]

		6月		さいばい：はなや やさいを そだてよう① （p.20～25）	6	◎育ててみたい植物を選んだり、土作り、たねまきの仕方、苗植えのやり方、育て方を調べたりして準備をする。 ◎水やりの世話、支柱立てなどの世話を通して植物の成長に気付き、これからの成長に関心をもつ。	・草花のたね ・野菜の苗 ・栽培の用土、植木鉢、じょうろ、シャベル、肥料、名札、支柱 ・観察カード ・ゲストティーチャーとの連絡	○植物に関心をもってかかわろうとしている。 [行動・記録] ○植物の成長を楽しみながら、世話を続けようとしている。 [行動]	○育ててみたい植物を選んだり決めたりしている。 [行動] ○植物の成長に合った世話を考えることができ、植物の成長を自分なりの方法で表現している。 [行動・記録]	○植物によって、たねのまき方や栽培方法、時期が違うことに気付いている。 [つぶやき・記録] ○植物の成長の様子に気付き、世話ができるようになった自分の成長に気付いている。 [発言・記録]
				わたしの つうがくろ （p.26～33）	6	◎行き帰りの通学路の様子に関心をもつとともに、安全に気をつけて歩き、また自分たちの安全を守ってくれている施設や人がいることに気付く。 ◎身近な公園などを利用し、自然にふれたりしながら、友達と仲よく遊ぶ。 ◎公園を利用しているいろいろな人の存在に気付き、施設の使い方やルールを守って大切に使う。	・探検経路の確認 ・校外学習の届け ・関係者への連絡 ・公園の確認 ・救急バッグなど	○通学路の様子に関心をもち、その様子を進んで友達や先生に話そうとしている。 [行動・発言] ○安全に気をつけて登下校しようとしている。 [行動] ○安全を守ってくれている人に、あいさつをしたりお礼を言ったりしようとしている。 [行動・発言] ○公園遊びに関心をもち、進んで人や自然とかかわって遊ぼうとしている。 [行動]	○通学路の様子を調べたり観察したりして、安全な登下校の仕方を考えている。 [発言] ○ルールやマナーを考えて公園で遊んでいる。 [行動]	○通学路の動植物や自然、そこで出会う人々、暮らしの様子などに気付いている。 [発言] ○通学路では、様々な人に守られていることに気付いている。 [行動・発言・記録] ○安全に気をつけて登下校できるようになった自分に気付いている。 [発言・記録] ○公園にはみんなで使うルールがあることに気付いている。 [発言]
			◆がくしゅうどうぐばこ1「『あぶない！』じぶんを まもる ために」（p.34～35）				校外に出かけるときのルールやマナーを知り、安全に対する子どもの意識を高める。			

学期 配当時	学期 配当時	大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
					関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
1 35	1 44	なつと なかよし（配当時数11時間） （p.36～49） ＊なつと なかよし・扉（p.36～37）	◎育ててきた植物の成長、遊びの様子などから、季節の移り変わりとともに、自然や自分たちの様子が変わることに気付くことができる。 ◎季節の遊びを通して自分たちの生活を工夫したり、家族や地域の人々とのふれ合いを大切にしたりして、楽しく過ごすことができる。	・栽培活動 ・花や実を使った遊び、水遊び、砂遊び ・夏休みの計画 等のための準備	○植物の開花や収穫を楽しみに世話をしようとしている。 ○夏の自然遊びや行事に関心をもち、みんなで楽しく遊ぼうとしている。	○植物の成長の様子を振り返り、表現している。 ○必要な道具などを使い、工夫して遊んだり作ったりしている。	○植物の成長の様子や最後まで世話ができた自分に気付いている。 ○季節の変化、自然物で遊んだり作ったりする楽しさ、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。

35 時間	44 時間	7月	なつと なかよし	小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例		
								関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
				さいばい：はなや やさいを そだてよう② （p.38〜41）	3	◎アサガオなどの草花につぼみができ、開花した喜びや花の美しさへの感動を観察記録に絵や文で表現する。 ◎ラッカセイ、ダイズなどの野菜につぼみができ、開花して、実になっていくことに気付く。 ◎植えた草花の成長、野菜の収穫への意欲を高め、継続して世話をする。	・じょうろ、肥料 ・観察カード	〇つぼみがつき、花が咲くことを楽しみにして世話をしようとしている。 [行動] 〇実やたねができたらどうしたいかを考え、成長を心待ちにしている。 [つぶやき]	〇諸感覚を使って観察し、記録をしている。 [発言・記録] 〇気温の高い日には多めに水をやるなど植物のことを考えて世話をしている。 [行動] 〇成長した喜びを表現している。 [発言・記録]	〇小さなたねから大きな花や実が出来ることに気付いている。 [つぶやき・記録] 〇世話を続けたことで、植物が成長したことに気付いている。 [発言・記録] 〇最初に比べて、世話が上手になった自分に気付いている。 [発言・記録]
				おもしろい あそびが いっぱい （p.42〜47）	6	◎シャボン玉遊び、水遊び、砂遊びなど、友達と仲よく遊ぶ。 ◎育てた花や実や、身近な花や実を使って、色水遊びや、押し花、たたき染め遊びをする。 ◎身近な季節の遊びを通して、自分たちの生活を工夫して楽しむ。	・台所用洗剤、洗濯のり ・マヨネーズ容器、トレイ、紙コップ、ストロー、段ボール、うちわ、トイレットペーパーの芯など ・千枚通し、はさみ、油性ペンなど ・花や実 ・ビニル袋、綿棒、容器、たたくもの（びんや木づち）、画用紙、リボンなど	〇シャボン玉遊びや水遊びに関心をもち、楽しもうとしている。 [行動・つぶやき] 〇植物の花や実を使って遊ぼうとしている。 [行動]	〇夏にふさわしい遊びを考えている。 [つぶやき] 〇身の回りのものを使って、遊びの準備をしたり、計画を立てたりしている。 [行動] 〇遊びに必要な材料や道具などを考えて準備している。 [行動・つぶやき] 〇色水遊びできれいな色が出来るように工夫している。 [行動・作品] 〇押し花やたたき染めで出来たものを工夫してしおりや首飾りなどにしている。 [作品]	〇身の回りのものを使って遊ぶ道具が出来ることに気付いている。 [発言・カード] 〇夏の季節の自然を上手に使って遊べるようになった自分に気付いている。 [発言・記録]
				なつは たのしい ことが いっぱい （p.48〜49）	2	◎初めての夏休みを迎えることを、みんなで話し合う。 ◎家族と一緒に出かけたり、遊んだり、手伝いをしたりするなど、楽しいひとときを考え、家族とのきずなを深める。 ◎地域の行事を通して、地域の人々とふれ合う。	・夏の風物詩や地域行事の写真、家族旅行の写真など ・家族の夏休みの計画 ・地域の夏休みの行事予定 ・絵日記	〇夏休みに、いろいろな行事に参加したり活動したりして楽しもうとしている。 [作品・記録]	〇家族のために夏休みにできることや、自分でやってみたいことを考え、計画表にしたり、図に表したりして表現している。 [発言・記録]	〇夏休みの楽しい過ごし方について気付いている。 [発言・記録]

1学期配当時数 44時間	大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
				関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
	あきと なかよし（配当時数35時間） （p.50〜83） ＊あきと なかよし・扉（p.50〜51）	◎野原や校庭で見つけた虫を飼うことで、生き物に親しみをもつとともに、虫の不思議に気付くことができる。 ◎落ち葉や木の実で遊んだりして、身近な自然とかかわり、季節の変化や自然の不思議さに気付くことができる。 ◎これまで育ててきた植物のたねとりをしたり、秋植えの植物を植えたりして、植物に親しむことができる。	・生き物採集 ・栽培、たねとり ・秋の自然物を使った遊び等のための準備	○身近な自然に関心をもち、それらとかかわる活動を行うなどして、楽しく生活しようとしている。 ○自然や生き物と諸感覚を使ってかかわり、楽しく遊ぼうとしている。	○花や実などの自然物や身近な材料を使って、工夫して作品を作ったり遊んだりしている。 ○自分なりに工夫して、秋の自然と遊んだ楽しさを表現している。	○夏に比べて、身近な自然の様子が変化したことに気付いている。 ○秋の自然を使って遊べた自分や、一緒に遊んだ友達のよさに気付いている。

2学期配当時数 42時間		小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例		
						関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
9月	あきと なかよし	いきものと なかよし （p.52〜59）	9	◎友達が見つけてきた虫をきっかけに、知っている虫や見つけた場所について話し合い、虫を探しに行く。 ◎見つけてきた虫のすみかを作って飼い、様子を観察し、分かったことを伝え合う。 ◎学校で飼っている動物の最近の様子について話し合い、心配なことを専門家に相談したり、大切に育てるための飼い方を教えてもらったりする。	・捕虫網、虫かご ・水槽、小さい皿、石、割れた植木鉢、竹串、えさなど飼育に必要なもの ・虫めがね ・観察カード	○身近な生き物に関心をもち、虫を探そうとしている。 [つぶやき・行動] ○育てている虫の様子を楽しみながら、世話を続けようとしている。 [行動・発言・記録] ○ファーブル昆虫記から虫の不思議に関心をもち、調べようとしている。 [行動・発言] ○学校で飼っている生き物の変化に関心をもち、かかわろうとしている。 [行動・発言・記録]	○虫がいそうな場所を考えて、工夫して採集している。 [行動・つぶやき] ○虫の不思議を虫めがねや本を使って調べ、表現しようとしている。 [行動・発言・記録] ○生き物の成長の様子や季節の変化に合わせて、世話の仕方を考えている。 [行動・発言・記録]	○虫が生息している環境や捕まえ方に気付いている。 [つぶやき・記録] ○生き物の成長の様子や育てている生き物に合った世話の仕方に気付いている。 [行動・つぶやき] ○上手に生き物の世話ができるようになった自分に気付いている。 [つぶやき・記録]
10月		さいばい：はなや やさいを そだてよう③ （p.60〜65）	7	◎秋になって育ててきた草花のたねとりをし、たねの形や色などについて観察カードに絵や文で表現する。 ◎土の中にできているサツマイモ、ラッカセイを収穫し、自然の不思議さを体感する。 ◎採れたたねを入れて保存しておく袋を作り、来年4月の新1年生へのプレゼントとして準備する。 ◎収穫した野菜の食べ方を話し合い、調理をしてもらうなどして食べる。 ◎冬越しの植物について、たねをまいたり、苗や球根を植えるなどして、植物をさらに育てていく意欲を高める。	・じょうろ、シャベル、肥料 ・観察カード ・たね袋を製作する材料 ・球根類、イチゴなどの苗、栽培物のたね ・ゲストティーチャーとの連絡 ・図鑑類	○たねとりに関心をもち、たねのプレゼントをしようとしている。 [行動・つぶやき] ○サツマイモやダイズ、ラッカセイなどを食べることに関心をもって収穫しようとしている。 [行動・つぶやき] ○秋まきの植物に関心をもち、育てたい植物を選び、世話をしようとしている。 [行動・つぶやき]	○思いや願いを込めてたねとりをし、そのたねをどうすればよいかを考えている。 [つぶやき・作品・記録] ○収穫物を楽しく食べる方法を考えている。 [つぶやき・発言]	○春にまいたたねと同じ形や大きさのたねが採れることに気付いている。 [つぶやき・記録] ○長期間にわたる世話の大切さ、世話をやり通した自分の成長と身近な人の協力に気付いている。 [つぶやき・発言] ○秋にまいたり植えたりする植物があることやそのまき方・植え方・世話の仕方などに気付いている。 [発言・記録]

2 学期 配当時数 42 時間	2 学期 配当 58 時間	11月	かよし	あきと ふれあおう (p.66〜77)	11	◎身近な場所で見つけた秋について紹介し、公園に行ってどんな秋が見つけられそうか話し合う。 ◎秋の公園で諸感覚を使って秋を感じたり、比べたり、言葉で表現したりしながら秋と親しむ。 ◎公園で落ち葉や木の実、草花などを使って工夫して遊ぶ。 ◎公園で集めてきた、落ち葉や木の実などを使って、いろいろなものを工夫して作り、どうしたらうまく作ることができるかを友達と教え合う。	・葉や木の実を入れる器、袋 ・見つけたよカード ・竹ひご、画用紙、紙コップ、紙粘土、マグネット、接着剤、マーカーペンなど	〇身近な秋を進んで見つけようとしている。 [行動・つぶやき] 〇思いや願いをもって遊びや遊びに使うものを作ろうとしている。 [行動・発言] 〇出来上がった作品を友達や先生に見せ、そのよさを伝えようとしている。 [行動・作品]	〇秋の自然物を生かして、どんな遊びができるか考えたり、試したりしている。 [行動・つぶやき] 〇公園で見つけた秋を比べたり、たとえたり、言葉で表したりすることができる。 [発言・記録] 〇安全に気をつけて作ったり、後片づけの仕方を工夫したりしている。 [行動] 〇みんなで楽しむことができるルールを考えて遊んでいる。 [行動・作品・記録]	〇夏のころと自然の様子が違うことに気付いている。 [つぶやき・発言・記録] 〇紅葉の美しさや秋風の心地よさなどに気付いている。 [つぶやき・発言・記録] 〇いろいろな形や大きさの葉や実があることに気付いている。 [つぶやき・発言] 〇約束やルールを変えたり工夫したりすると遊びが楽しくなることに気付いている。 [作品・記録] 〇安全な道具の使い方やポイントが分かっている。 「行動」
				つくろう あきの おくりもの (p.78〜81)	8	◎幼稚園や保育所の子を招待し、一緒に秋の遊びをする計画を立てる。 ◎どんなことに気をつけたらよいかを話し合い準備を進める。 ◎「秋のおくりもの」に招待し、作ったものを使って一緒に秋の遊びをする。 ◎自分の秋を振り返り、一人ひとりの思い出を作品で紹介する。	・落ち葉、木の実など ・画用紙、マーカーペン、折り紙など製作に関するもの ・的当て布、こま回しの台、秋の曲、CDプレーヤーなど発表会に必要なもの ・感想カード	〇園児を招待して一緒に遊ぶことを楽しみにして準備をしようとしている。 [行動・つぶやき・記録] 〇園児と一緒に楽しく遊ぼうとしている。 [行動] 〇秋の楽しかった思い出を表現しようとしている。 [行動・発言]	〇園児の立場になって考え、遊びの準備をしたりプレゼントを作ったりしている。 [行動・発言・作品] 〇自分の思い出を工夫して作品で表現している。 [作品・記録]	〇園児に上手に接することのできた自分の成長に気付いている。 [発言・記録] 〇秋の自然を使って楽しむことのできた自分に気付いている。 [発言・記録]
			◆がくしゅうどうぐばこ2「あきの きの みと おちば」(p.82〜83)				自分が見つけた葉や木の実を調べたり、それを使ってどんな遊びができそうかを考えたりする。			

大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
			関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
ふゆと なかよし(配当時数32時間) (p.84〜115) ＊ふゆと なかよし・扉(p.84〜85)	◎家族と過ごす年末年始の行事やその準備を楽しんだり、家族や地域の人々にお正月遊び・伝承遊びを教わり、一緒に楽しんだりすることができる。 ◎風や雪、冬の日ざしなどを利用した遊びを工夫して、自然に親しみながら、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに気付くことができる。 ◎自分の成長を振り返ったり、認めたりしながら、2年生になるという意識をもって、1年生を迎える準備をすることができる。	・冬の様子を表す写真 ・リース作り、正月飾りの製作 ・年末年始の計画 ・昔遊び ・風や雪、冬の日ざしを利用した遊び ・1年間の成長を振り返る作品 ・1年生を迎える計画 等の準備	〇冬の自然や暮らしに関心をもって楽しく過ごそうとしている。 〇自分の1年を振り返り、進級の準備をしようとしている。	〇冬の自然を使った遊びを工夫している。 〇家族の一員として自分ができることを考え実行している。 〇1年間を振り返り、できるようになったことを表現している。	〇秋と比べて、身近な自然や暮らしの変化に気付いている。 〇冬の遊びや暮らしの楽しさに気付いている。 〇できるようになったことが増えた自分の成長に気付いている。

小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例		
				関心・意欲・態度	思考・表現	気付き

		12月	ふゆと なかよし	ふゆを みつけたよ (p.86〜91)	7	◎校庭や通学路、町のなかなど身近な自然や暮らしのなかから冬を探し、冬の季節感をとらえる。 ◎身近な材料を使って飾りを作ったり、正月を迎える準備として年賀状などを書いたりする。	・暮らしのなかにも冬があることをとらえさせる写真、絵 ・木の実、つる、リボン、モール、千代紙などリース作りや年賀状の材料	○冬の自然に関心をもち、体全体を使って身近な自然とふれ合ったり、かかわったりしようとしている。 [行動・つぶやき] ○季節や地域の行事とのかかわりに関心をもち、家族や地域とかかわろうとしている。 [発言]	○身近な自然や暮らしの変化をとらえ、発見したことを表現している。 [発言・記録] ○素材を自分なりに工夫して活用しながら、飾り作りに取り組んでいる。 [作品]	○秋のころと身近な自然や暮らしが変わってきたことに気付いている。 [つぶやき・発言] ○地域や家には、季節にちなんだ様々な行事があることに気付いている。 [発言・記録]
3 学期 配当時 25 時間	2 学期 配当時 58 時間	1月		かぞくで いっしょに おしょうがつ (p.92〜95)	5	◎冬休みに家族でしたいことの計画を立て、新しい年を迎える準備をする。大掃除をすることを計画し、自分ができることを考え、家族で協力して実行する。 ◎1年間を家族で振り返り、希望をもって新年を迎える。 ◎地域のお年寄りや大人から昔の遊びを教えてもらう活動を通して、昔遊びの楽しさや面白さを知り、友達や家族と一緒に遊ぶ。	・冬休みの計画表 ・お手玉、けん玉など昔遊びに使うもの ・ゲストティーチャーとの連絡 ・見つけたよカード	○年末年始の暮らしに関心をもって楽しもうとしている。 [発言・記録] ○昔遊びに関心をもち、進んでかかわろうとしている。 [行動・つぶやき]	○家族のなかでの自分の役割を考え、年末の手伝いをしている。 [発言・記録] ○地域のお年寄り等に昔遊びを教えてもらい、楽しく遊んだことを表現している。 [発言・記録]	○家族で一緒に年末年始を過ごすことの楽しさに気付いている。 [発言・記録] ○昔遊びの技や楽しさに気付いている。 [発言・記録]
			◆がくしゅうどうぐばこ3「むかしの あそびに ちょうせん」(p.96〜97)				昔遊びの遊び方について知り、いろいろな遊びに挑戦してみたいという意欲をもつ。			
			◆がくしゅうどうぐばこ4「おりがみ ORIGAMI」(p.98〜99)				折り方を参考にしながら、作品作りに取り組む。			
		2月	ふゆと なかよし	みんな かぜの 子 (p.100〜107)	8	◎風車やたこ、風輪や紙飛行機など風で動くおもちゃを作り、楽しく遊ぶ。 ◎北風、雪、氷、日ざしなど冬の自然状況を生かした屋外での遊びを工夫して、友達と楽しく遊ぶ。 ◎校庭でいろいろな形の影を作って遊ぶなど、影を使った遊びをする。	・ビニル袋、紙コップ、紙皿、折り紙など ・たこ糸、ステープラー(ホチキス)、きり、はさみなど ・感想カード、見つけたよカード	○風や雪、氷、光などに関心をもち、それらを使って楽しく遊ぼうとしている。 [行動] ○遊びや遊びに使うものを作ろうとしている。 [行動]	○風や雪、氷、光などの性質を利用して、遊びを工夫している。 [行動・作品・記録] ○友達と協力し、楽しく遊んだことを表現している。 [発言・記録]	○風や雪、氷、光などを使うと楽しく遊べることに気付いている。 [つぶやき・発言・記録] ○雪が降った日の自然の様子や、影の向きや動きについて気付いている。 [発言・記録]
				はるを さがそう (p.108〜109)	3	◎校庭など身近な場所で、木や草、生き物の様子を調べ、春の訪れが感じられることに気付く。	・身近な自然のなかに春の訪れを感じさせる活動場所の確保、写真や絵 ・見つけたよカード	○校庭の自然や町の様子の変化に関心をもち、春探しをしようとしている。 [行動・つぶやき]	○どんなことが変わってきたのかを考え、春探しをしている。 [行動・つぶやき]	○校庭の自然や栽培している植物、人々の暮らしなどの変化に気付いている。 [発言・記録]
		3月		もう すぐ 2年生 (p.110〜115)	9	◎自分の1年間を振り返り、楽しかったことやできるようになったことを発表し合う。 ◎新1年生のために、自分たちができることややってあげたいことを話し合い、プレゼントなどの準備をする。 ◎新1年生に学校内を案内したり、教室をきれいにしたりして、新1年生を迎える準備をするとともに、1年間かかわった人たちに感謝の気持ちをもつ。	・1年間の成長を振り返ることのできる写真や絵 ・6年生へのお礼状 ・幼稚園や保育所との連携 ・プレゼントの材料 ・保護者への案内状 ・振り返りカード	○1年間を振り返り、進級する喜びを感じている。 [行動・発言] ○新しい1年生を、期待をもって迎えようとしている。 [行動・発言]	○自分自身を振り返り、過去と現在の自分を比較して考えている。 [記録・発言] ○新しい1年生のことを考え、活動したり準備をしたりしている。 [行動・作品]	○1年間でできるようになったことが増え、成長した自分に気付いている。 [発言・記録] ○1年生を迎える準備を通し、もうすぐお兄さん、お姉さんになることに気付いている。 [発言・記録]

がくしゅうどうぐばこ 扉（p.116～133）	◆がくしゅうどうぐばこ5「むし　むし　むし」（p.118～121）	身の回りにはいろいろな虫がいて、それぞれ住んでいる場所や季節が違うことに気付き、生き物への親しみをもつ。
	◆がくしゅうどうぐばこ6「いろいろな　草花」（p.122～123）	身近に見かける草花について興味をもち、名前を調べることで、草花に対する興味・関心をより高める。
	◆がくしゅうどうぐばこ7「く・も・く・も・く・も・く」（p.124～125）	空に浮かぶ雲のいろいろな形に気付くとともに、その不思議さに子どもの興味を膨らませる。
	◆がくしゅうどうぐばこ8「なかよし　クッキング」（p.126～127）	収穫した野菜などをどのようにして食べたいか、調理例を参考に考える。
	◆がくしゅうどうぐばこ9「手がみを　出そう」（p.128～129）	手紙の書き方、出し方を知るとともに、飾りを工夫して手紙を作成する。
	◆がくしゅうどうぐばこ10「どうぐを　じょうずに　つかおう」（p.130～133）	道具を上手に使うためのこつを知り、安全な使い方を身に付ける。

3期制	2期制	大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
					関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
1 学期 配当時数 36 時間	1 学期 配当時数 56 時間	春 はっけん （配当時数24時間） (p.2〜29) ＊もくじ（表2〜p.1） 2年生の生活科のテーマは「はっけん」。生活科の活動が広がっていくことへの期待感をもてるようにする。 ＊春 はっけん・扉（p.2〜3） 「春のスイッチ」の詩を導入として、進級した喜びを感じさせる。	◎2年生になった喜びを、家族や友達と感じ取ることができる。 ◎1年生に親切にするとともに、自分の成長を感じることができる。 ◎栽培や校庭および通学路の様子から春を感じるとともに、自然に親しむことができる。 ◎通学路や学区を歩き、人々の暮らしの様子や自然の変化、安全を守っている施設や人々に気付くことができる。	・1年生との交流会、歓迎会 ・校庭や野原で春探し ・栽培活動 ・春の町探検 等のための準備	〇2年生に進級した喜びを感じ、意欲的に生活しようとしている。 〇春の自然や町の様子について、様々な人々とかかわりながら調べようとしている。 〇育てている植物の成長を楽しみにしながら世話を続けようとしている。	〇どのようにしたら、1年生を迎える会を楽しく行うことができるか考えている。 〇春の町へ出て、人々にインタビューしたことや見つけたことを、自分なりの方法を考えて表現している。 〇植物の成長に合わせて世話をしている。	〇1年生に親切にするなかで、自分の成長に気付いている。 〇春という季節を諸感覚を通して感じ取り、それらと自分とのかかわりに気付いている。 〇育てている植物に合った世話の仕方があることに気付いている。

月		小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例		
						関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
4月	春 はっけん	2年生に なったよ (p.4〜13)	6	◎2年生に進級し新たなめあてをもって新学期を迎えるとともに、進級した喜びを感じる。 ◎1年生を歓迎する会の準備や学校案内など1年生とかかわる活動を通して自分の成長に気付く。 ◎春の校庭を散歩しながら、動植物の変化や身近な春を見つけて楽しむ。 ◎近くの野原や校庭でネイチャーゲームを楽しみ、春の自然とのふれ合いを通して、草花や動物の特徴に気付く。	・目標カード ・1年生へのプレゼント ・1年生歓迎会で使うもの ・見つけたよカード ・ビンゴカード ・虫めがね ・ミクロハイクのためのロープ	〇2年生に進級した喜びを感じ、目標をもって意欲的に生活しようとしている。 [発言・記録] 〇上級生として、1年生に親切に接したり楽しませたりしようとしている。 [行動・発言] 〇諸感覚を使って、春の自然にふれ合おうとしている。 [行動・記録]	〇2年生で、できるようにしたいことを考えている。 [発言・記録] 〇どのようにしたら1年生を楽しませることができるかを考え、「新1年生を迎える会」の準備をしている。 [行動・発言] 〇工夫して春の草花で遊び、工夫したことを表現している。 [行動・つぶやき]	〇自分も友達も新たな気持ちで新学年を迎えていることに気付いている。 [つぶやき・発言] 〇1年生に親切にするなかで、1年前の自分を思い出し、その成長に気付いている。 [つぶやき・発言] 〇春の自然の特徴に気付いている。 [発言・記録]
		◆がくしゅうどうぐばこ1「草花あそび」(p.14〜15)			遊びながら草花の名前を覚えたり、新しい遊びを工夫したり、諸感覚を使って草花とふれ合う楽しさを実感する。			
5月		さいばい：花や やさいをそだてよう④ (p.16〜21)	6	◎秋に植えた野菜などの収穫の喜びを感じたり、家族で楽しく調理して食べたりする。 ◎育てたい野菜などを決め、収穫を楽しみにしながら、これまでの栽培の経験を生かして、苗を植えたり、たねをまいたりし、継続して世話をする。	・土作り、じょうろ、シャベル、肥料、支柱、栽培容器 ・観察カード ・野菜の苗、草花のたね	〇秋に植えた植物の成長に関心をもって収穫を楽しもうとしている。 [行動・つぶやき] 〇次なる栽培活動に期待感をもって、育てるものを決めようとしている。 [行動・発言]	〇収穫したものの食べ方を調べたり考えたりしている。 [行動・発言] 〇栽培への思いや願いをもって、栽培の仕方を調べている。 [行動] 〇世話で困ったときには、どうすればよいのか考えている。 [行動・発言]	〇収穫物を通して、秋からがんばって育ててきた自分に気付いている。 [発言・記録] 〇自分で栽培したものをみんなで食べる楽しさに気付いている。 [つぶやき・発言] 〇育てる植物に合った世話の仕方があることに気付いている。 [発言・記録]

		6月		春の 町で はっけん (p.22〜27)	12	◎通学路や学区を歩きながら動植物の変化や人々の暮らしのなかに春を見つけ楽しむ。 ◎通学路や学区の人々とふれ合うなかで、町のなかの施設や人々にも関心をもつ。	・見つけたよカード ・学校周辺の地図 ・探検バッグ、帽子、ノートやカード、デジタルカメラ、テープレコーダーなど ・感想カード	〇町の春の様子を安全に気をつけながら、見つけようとしている。 [行動・つぶやき] 〇あいさつをしたりインタビューをしたりして地域の人にかかわることを楽しもうとしている。 [行動・発言] 〇春の町で見つけたことを発表しようとしている。 [発言・記録]	〇夏・秋・冬の町の様子との違いを考えながら探検し、自分の通学路について考え、道カードに表している。 [つぶやき・発言・記録] 〇友達が描いたカードから、行きたい場所を考え、表現している。[発言・記録] 〇見つけた春を友達に工夫して伝えている。 [行動・発言]	〇町の春の様子に気付いている。 [発言・記録] 〇町には働いている人や暮らしている人がたくさんいることに気付いている。 [発言・記録] 〇身近な人々との上手な接し方に気付いている。 [行動・発言]
			◆がくしゅうどうぐばこ2「たんけん名人を 目ざせ！」(p.28〜29)				町探検の活動を行う際に必要な習慣や技能を身に付ける。			

大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
			関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
生きもの はっけん(配当時数12時間) (p.30〜51) ＊生きもの はっけん・扉(p.30〜31)	◎生き物を飼育して、それらの育つ場所・変化や成長の様子に関心をもち、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができる。 ◎雨の日や夏の様子とともに、安全・快適に生活するための工夫に気付き、家族と夏休みの計画を立てることができる。	・生き物採集 ・飼育 ・夏休みの計画 等のための準備	〇動物やそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、生き物に親しんだり、大切にしたりしようとしている。 〇夏休みの家庭生活で自分にできることに目を向け、自分の計画を実現しようとしている。	〇自然のなかではどのような場所に住んだり育ったりしていたのか振り返ったり、調べたりして、生き物が好む環境を工夫して作るなどし、適切にかかわっている。 〇夏休みにしかできないことを考え計画している。	〇生き物は生命をもっていることや成長していること、生き物と自分とのかかわりに気付いている。 〇野菜の成長の様子や自分のかかわり方に気付いている。

1 学期 配当時数 36 時間	1 学期 配当時数 56 時間	7月	生き	小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例 関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
				生きて いるって すごい！ (p.32〜41)	8	◎身近にいる生き物や見つかる場所を教え合い、探しに行く計画を立てる。 ◎生き物探しに行く準備をして、みんなで探しに行く。 ◎採集してきた場所を考えて、生き物の暮らしやすいすみかを作り、大事に育てる。 ◎生き物がえさを食べて育ち、脱皮して大きくなったり、卵を産んだりする様子を観察し、自分の発見を絵や言葉などで表現する。	・網、釣り竿(棒＋たこ糸＋おもりの小石等)、えさ(するめ等) ・バケツ、水槽(自作のものでもよい) ・古い上ばき ・飼育容器、えさ(飼育用) ・観察カード ・図鑑類	〇自分が探したい生き物を決め、採集の準備をしようとしている。 [行動・発言] 〇生き物の様子に関心をもって、毎日えさやりや掃除などの世話をしようとしている。 [行動・記録]	〇育ててみたい生き物を選んだり、決めたりしている。 [つぶやき・発言] 〇生き物や生き物がいる場所にあった採集方法を工夫している。 [行動・発言] 〇生き物が住んでいた環境をもとにして、すみかを作っている。 [行動・記録] 〇飼育活動を通して発見したことを工夫して伝えようとしている。 [発言・記録]	〇生き物の特徴、変化、成長の様子に気付いている。 [発言・記録] 〇生き物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。 [発言・記録] 〇生き物に合った世話の仕方があることに気付いている。 [発言・記録] 〇上手に世話をすることができるようになった自分に気付いている。 [発言・記録]

もの はっけん	さいばい：花や やさいをそだてよう⑤ （p.42〜43）	2	◎育ててきた野菜の成長を実感し、収穫の喜びを味わう。 ◎収穫した野菜のおいしい食べ方を考え、友達や家族、地域の人とともに考え、話し合う。 ◎栽培にあたってお世話になった人に感謝の手紙を書く。	・調理器具 ・保護者への協力要請 ・観察カード ・手紙を書くための用紙など	〇自分の野菜の成長に関心をもって世話をし、収穫しようとしている。 [行動・発言]	〇適した時期を考えて、収穫している。 [行動・記録] 〇収穫した野菜の食べ方を考えている。 [つぶやき・発言]	〇それぞれの野菜の特徴に違いがあることや、どの野菜も成長には水や日光が必要なことに気付いている。 [発言・記録] 〇毎日、世話を続けることができた自分に気付いている。 [発言・記録]
	はっけん かんどう 夏休み （p.44〜47）	2	◎雨の日の学校や家、町のなかのすてきを探して紹介し合ったり、安全・快適な過ごし方について取材してまとめたりする。 ◎夏休み中にしたいことや、家族との過ごし方について家で相談したことを書き出して、計画表をつくる。 ◎夏休みの生活が規則正しく送れるように、一日の生活の仕方を計画する。	・はっけんカード ・夏休みの計画表 ・絵日記	〇雨の日の過ごし方に関心をもち、楽しもうとしている。 [行動・つぶやき] 〇夏休みに期待感をもって計画を立てようとしている。 [発言・記録]	〇安全に気をつけて、雨の日の遊びを考えている。 [行動・発言」 〇夏休みにしかできないことを考え、計画を立てている。 [発言・記録]	〇雨の日には、晴れの日と違った過ごし方があることに気付いている。 [つぶやき・発言] 〇夏休みには、いつもと違ってできることや楽しいことがあることに気付いている。 [発言・記録] 〇夏には、暑さのなかで暮らす生活の工夫があることに気付いている。 [発言・記録]
◆がくしゅうどうぐばこ3「夜の 長さって どの くらいかな？」（p.48〜49）				昼と夜を意識し、人や生き物の活動の違いについて考える。			
◆がくしゅうどうぐばこ4「セミの 一生・カブトムシの 一生」（p.50〜51）				身の回りにはいろいろな虫がいて、卵から成虫になるまでの成長の仕方の共通点や違いに気付き、生き物への親しみをもつ。			

大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
			関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
わたしの 町 はっけん （配当時数32時間） （p.52〜75） ＊わたしの 町 はっけん・扉（p.52〜53）	◎ 自分たちが住む町を探検し、様々な場所やもの、人に出会いながら、町への親しみと愛着を深めることができる。 ◎諸感覚を働かせたり、道具を利用したりして、町のことを調べることができる。 ◎自分の好きな場所や人、心に残った出来事などを表現し、友達や地域の人に知らせることができる。	・春の町はっけんで作成した地図 ・航空写真（学区） ・保護者へのお知らせ（単元学習のねらいや趣旨） ・町の楽しい行事や図書館や児童館などの催しものなどの案内（教室に掲示して町のすてきなどへの意識の喚起に活用する） 等の準備	〇地域で生活したり働いたりしている人々や、様々な場所に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり安全に生活したりしようとしている。 〇自分の好きな場所や人、心に残った出来事などを表現し、友達や地域の人と進んで交流しようとしている。	〇地域の人々や様々な場所とのかかわり方や安全な生活について考え、地域の一員として人々と適切に接したり安全に生活したりしている。 〇表現方法を工夫して、自分の好きな場所や人、心に残った出来事などを伝えている。	〇自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわりをもっていることが分かっている。 〇自分の好きな場所や人、心に残った出来事などを、友達や地域の人に伝え交流する楽しさに気付いている。

1

学期 配当

2

2 学期 配当時数 41 時間	時数 56 時間			小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例		
								関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
		9月	わたしの町はっけん	町には はっけんが いっぱい （p.54〜61）	10	◎町で大好きな人や場所とそのわけを「しょうかいカード」に書いて、紹介し合う。 ◎友達が紹介した「町の大すき」を、実際に見たり確かめたりする「町はっけん」に出かけることを相談する（グループ、コース、準備するもの等）。 ◎グループごとに「町はっけん」に出発。見たり、尋ねたりしながら活動する。 ◎見つけたことや出会った人やもののことを「はっけんカード」に書き出し、情報交換する。	・春の町はっけんで作成した地図 ・学校を中心とした学区域の地図を拡大した床地図 ・しょうかいカード ・町はっけん計画カード ・子どもの立ち寄り先への協力依頼と打ち合わせ ・保護者への協力依頼とボランティア募集のお知らせ ・探検ボード、デジタルカメラなど ・はっけんカード	○地域の様々な人々や場所に関心をもって紹介しようとしている。 [つぶやき・発言] ○自分が行ってみたい場所を決め、出かける計画を立てたり準備をしたりしようとしている。 [行動・記録] ○あいさつをしたり話しかけたりするなど、地域の人々に進んでかかわろうとしている。 [行動・発言]	○紹介する活動を通して、町のすてきな人や場所について考えている。 [つぶやき・発言] ○探検にはどんなものを準備すればよいのか、どのように回ると効率的かなどを考え計画を立てている。 [発言・記録] ○安全に探検する約束を考え、実行している。 [行動] ○発見したことを相手に伝わるように工夫しながら表現している。 [発言・記録]	○町には、行ってみたいすてきな場所がいくつもあることに気付いている。 [発言・記録] ○地域には、様々な人々が生活していることに気付いている。 [発言・記録] ○地域には、魅力的な様々な場所があることに気付いている。 [発言・記録]
		10月		みんなの はっけんを あつめよう （p.62〜69）	15	◎友達の発見を聞いて次に行きたい場所やコースを決め、調べることや調べ方を相談する。 ◎2度目の「町はっけん」に出発し、相談したことをもとに町の発見を広げる。 ◎学校に戻って、町で発見したすてきな人たちの情報交換をする。 ◎発見した町のすてきを発表する方法や内容を相談して、その準備をする。	・町はっけんの計画カード ・探検ボード、デジタルカメラ、テープレコーダーなど ・子どもの立ち寄り先への協力依頼と打ち合わせ ・保護者への協力依頼 ・町はっけん振り返りカード	○めあてを新たにして、2回目の町探検に出かけようとしている。 [発言・記録]	○都合を聞く、用件を正しく伝えるなど、探検の仕方やマナーについて考え、探検している。 [行動]	○地域には、様々な仕事があり、それらの仕事に携わっている人がいることに気付いている。 [発言・記録]
		11月						○あいさつをしたり、質問をしたりするなど、地域の人々に進んでかかわろうとしている。 [行動・発言] ○地域の人々や場所の様子を進んで友達と伝え合おうとしている。 [行動・発言]	○町の人々や場所の様子が友達に伝わるように考え表現している。 [発言・記録] ○友達の発表で分からないことを聞いたり、そのよさをほめたりしている。 [発言]	○地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることに気付いている。 [発言・記録]
				町の 人に つたえたい （p.70〜73）	7	◎家の人や町の人を呼んで、自分たちの町の発見を伝える発表会をする。 ◎調べたことをもっと多くの人に伝える方法を相談し、町の人や学校のホームページ担当の先生などにお願い・相談して、学校内外へ情報発信しようとする。	・模造紙、マーカーペン、画用紙、指示棒など ・グループごとの発表コーナー用の机と掲示板など ・町の店や掲示板を管理する町会などの人への協力依頼と下相談 ・招待状、お礼状 ・発表会振り返りカード	○家の人や町の人を呼んで、自分たちの町の発見を伝える発表会をしようとしている。 [行動・発言] ○町について調べたことをより多くの人々に伝え交流しようとしている。 [行動・発言]	○相手に伝わるように、内容や方法を工夫しながら発表しようとしている。 [行動・発言・作品] ○さらに多くの人々に伝える方法を考えている。 [発言・作品]	○愛着のある場所が増え、人と上手に接することができるようになった自分に気付いている。 [発言・記録]

		◆がくしゅうどうぐばこ5「絵地図を 作ろう」(p.74〜75)	絵地図の作り方を知り、実際に町探検の活動を絵地図にまとめる。

2 学期 配当時数 41 時間

2 学期 配当時数 49 時間

大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
			関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
はっけん くふう おもちゃ作り （配当時数9時間） (p.76〜87) ＊はっけん くふう おもちゃ作り・扉(p.76〜77)	◎身の回りのものを使って、動くおもちゃ、音の出るおもちゃを作り、遊ぶことを通して、面白さや不思議さに気付くことができる。 ◎身近なおもちゃ作りの名人に教えてもらったり、友達と教え合ったりしながら工夫しておもちゃを作り、楽しく人とかかわることができる。 ◎自分の工夫や、友達の工夫のよいところに気付くことができる。 ◎おもちゃ作り報告書を作り、自分の考えを伝えることができる。	・おもちゃ作り試作品 ・地域の方への協力依頼等のための準備	○身近な材料を使ったおもちゃ作りに関心をもち、楽しく遊ぼうとしている。	○どんなおもちゃを作るかを考え、決めている。 ○速く、遠く、面白くなど思いや願いを達成するための方法を考え、試している。	○風やゴム、磁石などの力に気付いている。 ○自分で作ったおもちゃで遊ぶ楽しさに気付いている。

12月

	小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例		
					関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
はっけん くふう おもちゃ作り	おもちゃを 作って みよう (p.78〜81)	3	◎身の回りの材料を使って、動くおもちゃや音の出るおもちゃを作り、面白さや不思議さに気付く。 ◎うまく動くおもちゃや、いろいろな音の出るおもちゃを工夫しながら作り、友達と比べながら楽しく遊ぶ。	・段ボール、プラスチック段ボール、竹ひご、ペットボトルのキャップ、紙粘土、うちわ、割りばし、トイレットペーパーの芯 ・ストロー、工作用紙 ・輪ゴム、紙コップ、スーパーボール、たこ糸、クリップ ・磁石、カプセルトイの空容器など	○身近な材料から自分でおもちゃを作って楽しもうとしている。 [行動・つぶやき]	○比べたり、試したり、繰り返したりして、よりよいおもちゃ作りを工夫している。 [行動・つぶやき]	○身近な材料を使っていろいろなおもちゃを作ることができることに気付いている。 [発言・記録]
	おもちゃの ひみつ はっけん！ (p.82〜85)	6	◎身近なおもちゃ作りの名人に、おもちゃ作りのこつを教えてもらったり、友達と教え合ったり、自分で調べたりしながら、より工夫してマイおもちゃを作る。 ◎教えてもらったり、調べたりしたことをもとに、どこを工夫するか考えながらおもちゃを作る。 ◎自分の発見したことを報告書にまとめたり、お礼の手紙を書いたり、1年生や家族とやりたいことを話し合ったりして、確かな気付きにする。	修理工場の準備 ・セロハンテープ ・輪ゴム(大きさ、太さの違うもの) ・はさみ ・ステープラー(ホチキス) ・工作用紙 など	○もっと楽しく遊びたいという意欲をもっておもちゃを作ろうとしている。 [行動・発言] ○もっと上手に作るために、名人や友達の工夫を取り入れようとしている。 [行動・つぶやき]	○どうすれば、もっと上手におもちゃを作ることができるか考えて、試している。 [つぶやき・発言] ○上手に出来たおもちゃのこつを友達や家族、1年生に伝えている。 [行動・発言]	○風やゴム、磁石の力を使うと楽しく遊べることに気付いている。 [発言・記録] ○自分で作ったおもちゃで遊んだり、友達と遊び方を考えたりする楽しさに気付いている。 [発言・記録]
	◆がくしゅうどうぐばこ6「楽しい おもちゃ」(p.86〜87)			作品例を参考に発想を広げ、身の回りにあるものを使っておもちゃを作る。			

3

学期 配当時数 28時間

2

学期 配当時数 49時間

大単元名	大単元の主なねらい	準備	大単元の評価規準例		
			関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
自分 はっけん（配当時数28時間） （p.88〜111） ＊自分 はっけん・扉（p.88〜89）	◎これまでの自分の成長を肯定的にとらえ、進んで自分の好きなことや得意なことを見つけることができる。 ◎自分の成長を振り返るための資料を集めたり実際に人に聞いたりしながら、自分の成長を実感するとともに、身近な人と自分の成長を伝え合うことができる。 ◎自分のよさや可能性に気付き、新たな目標をもつことができるとともに、これまでの自分の成長を支えてくれた人の存在にも気付き、感謝の気持ちをもつことができる。	・成長の振り返り ・発表会 ・招待者の手配 等のための準備	○自分の成長に関心をもち、これまでの成長を振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々へ感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。	○自分自身の成長を振り返り、これまでの生活や成長を支えてくれた人々、これからの成長について考え、それを素直に表現している。	○多くの人の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、自分のよさや可能性に気付いている。

	小単元名	配当時数	学習内容	準備	小単元の評価規準例		
					関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
1月 2月 自	はっけん 自分の よいところ （p.90〜93）	3	◎2年間の小学校生活を振り返り、できるようになったこと、大好きになったことなどを見つけ、伝え合う。 ◎友達のよいところ、がんばったことを見つけ、「はっけんカード」に書き、友達同士で伝え合う。 ◎自分で見つけたよいところ、友達や先生に見つけてもらったよいところを振り返ってまとめる。	・入学してから今までの写真など（子どもに成長をイメージしやすいもの） ・はっけんカード（項目ごとに色分けをしておく） ・カードを貼ってまとめる学習シート	○自分自身の成長に関心をもち、自分の成長を振り返ろうとしている。 [行動・発言]	○できるようになったことを考え、表現している。 [発言・カード] ○自分が見つけた友達のよさを直接友達に伝えている。 [行動・発言]	○2年間の生活を振り返り、自分のできるようになったことに気付いている。 [発言・カード] ○自分のできるようになったことや友達のよさに気付いている。 [つぶやき・発言] ○友達から伝えられた自分のよさから自信をもち、さらに自分自身への気付きを肯定的に捉えている。 [発言・カード]
	自分の ことを もっと 知りたいな （p.94〜99）	10	◎保護者からの手紙を読み、小さいころの自分の様子や自分に対する家族の思いや願いなどを知り、さらに自分のことを知りたくなる意欲をもつ。 ◎自分のこれまでの成長を知るためにはどんな方法があるかを考え、調べるための計画を立てる。 ◎成長を記録した写真、自分の成長にかかわった人へのインタビューなど、自分が考えた方法でこれまでの自分の成長を調べる。 ◎調べたことを元に、ポートフォリオやすごろく、紙芝居など自分がまとめたい方法でこれまでの自分の成長をまとめる。	・家庭への協力依頼 ・保護者からの手紙（保護者には、生まれたころの様子やエピソード、子どもの成長への思いなど、生活科通信などを活用し十分に学習の趣旨が伝わるようにする） ・自分はっけんインタビューカード ・カードをまとめるためのファイルなど	○保護者からの手紙や家族との対話から小さかったころの自分について関心をもち、自分について知ろうとしている。 [発言・行動] ○これまでの生活や成長の様子を知るための手がかりを探そうとしている。 [行動・つぶやき] ○自分の成長を振り返り、まとめようとしている。 [行動・作品]	○自分の小さかったころのことを調べる方法を考えている。 [行動・発言] ○様々な手がかりをもとにして、過去の自分と現在の自分を比較している。 [行動・発言・作品] ○自分の考えた方法でまとめている。 [記録・作品]	○自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。 [発言・記録・作品] ○たくさんの人に支えられて成長してきたことに気付いている。 [発言・記録]

		3月	分 はっけん	ようこそ、自分はっけん はっぴょう会 （p.100～103）	9	◎自分の成長を伝えるための学習発表会の計画を立てる。誰を呼ぶか、伝える方法などを決める。 ◎発表会の準備をする。招待状を書いたり、プログラムを決めたりする。友達同士で伝え方のアドバイスをしてよりよい発表になるようリハーサルを行う。 ◎発表会を行う。自分が考えた方法でこれまでの成長を伝える。 ◎発表会を振り返り、自己評価をする。発表会に来てくれた人に感謝状を書く。	・会場の確保や画用紙などの発表会に必要なもの ・参加者が書く感想カード ・振り返りカード、お礼の手紙	○「自分はっけんはっぴょう会」に関心をもち、準備をしようとしている。 [行動・発言]	○発表会のプログラムを考えたり、自分の発表を考えたり、友達の発表にアドバイスをしたりしている。 [行動・発言] ○自分が考えた方法で、伝えたい人に、自分の成長を伝えている。 [行動・発言・作品]	○自分ができるようになったことのなかでも、自信があるものに気付いている。 [発言・記録] ○自分の発表を家族が喜んでいることに気付いている。 [発言・記録]
				ありがとうを とどけよう （p.104～107）	4	◎これまでの自分の成長を支えてくれた人、応援してくれた人は誰で、自分にとってどんな影響を与えてくれたのかを考え、「ありがとうカード」に書く。 ◎学校の友達や先生、学習でお世話になった地域の人などに「ありがとうカード」を届ける。 ◎これまで自分を育ててくれ、今でも家族のために働いてくれている家族に「ありがとうカード」を届ける。 ◎家庭生活において、自分が家族のためにできることを考え、実行に移す。	・ありがとうカード（カードをためて掲示するなど工夫する） ・保護者への協力依頼	○これまでお世話になった人々へ感謝の気持ちを伝えようとしている。 [行動・発言・作品] ○家族が自分やほかの家族のためにしてくれていることを見つけ、進んで家族にも感謝の気持ちを伝えようとしている。 [行動・発言]	○成長の喜びや感謝の気持ちを伝える方法を考え実行している。 [行動・作品]	○自分の成長について、喜んだり励ましたりしてくれた多くの人々がいることに気付いている。 [発言・記録] ○家庭でも、できるようになったことや役割が増えた自分自身に気付いている。 [発言・作品]
				みらいに むかって はばたこう！ （p.108～111）	2	◎これまでの学習を振り返り気付いた自分のよさや可能性、さらにチャレンジしたくなったことなどを考える。 ◎考えたことをもとにカードを書き、発表会、掲示など様々な方法で交流する。	・目標カード	○自分のよさや得意なことに自信をもち、具体的な願いや夢をもって生活しようとしている。 [行動・記録]	○自分の成長に希望をもち、これからの生活について考え、表現している。 [発言・記録]	○これからも成長できることや成長への願いや夢があることに気付いている。 [発言・記録]

がくしゅうどうぐばこ 扉（p.112～129）	◆がくしゅうどうぐばこ7「池や　川の　生きもの」（p.114～115）	水の中にはいろいろな生き物がいることを知り、親しみをもつ。
	◆がくしゅうどうぐばこ8「みどりを　楽しむ　くらし」（p.116～117）	授業での栽培活動だけでなく、生活のなかでより緑と親しむための工夫を知る。
	◆がくしゅうどうぐばこ9「おじいちゃん　おばあちゃんに　教えて　もらったよ」（p.118～119）	日本の伝統的な文化や暮らしの知恵にふれ、自分たちの生活にも取り入れることを考える。
	◆がくしゅうどうぐばこ10「電車や　バスに　のる　ときは」（p.120～121）	公共交通機関を利用して出かける際の、ルールやマナーを身に付ける。
	◆がくしゅうどうぐばこ11「しらべて　みよう」（p.122～123）	情報の調べ方、調査の仕方には様々な方法があることを知り、実際の活動のなかで活用する。
	◆がくしゅうどうぐばこ12「いろいろな　つたえ方」（p.124～125）	いろいろなまとめ方、発表の仕方を知り、自分の伝えたい方法を考える。
	◆がくしゅうどうぐばこ13「せかいの　なかま」（p.126～127）	あいさつの言葉や遊び、代表的な料理などから、外国の人や文化に興味・関心をもち、理解を深める。
	◆がくしゅうどうぐばこ14「あたたかいね　たすけ合う　町」（p.128～129）	地域には様々な人が暮らしていることを知るとともに、誰にとっても住みやすい町であることの大切さを知る。